

2013年3月期 第2四半期

株主・投資家の皆さまへ

悠

No.

44



Contents



COOメッセージ

**順調な既存事業の積み上げと、新たな事業活動の
拡大によって、さらなる利益成長を目指します**

P1

オリックスReview



連結決算ハイライト

P3



事業活動トピックス

P4



キーパーソンが語る「未来を創るオリックス」

**オリックスのさまざまな事業活動を通じて培ってきた
高い専門性を生かし、新たな分野へ進出します**

P5



おしえて！オリックス vol.4

世界を舞台に躍進するオリックスの航空機ビジネス

P7

会社情報／株式情報／Information／株主アンケート結果のご報告

P9

オリックス・バファローズ ニュース／WEBサイトのご紹介

裏表紙

ORIX

証券コード:8591



順調な既存事業の積み上げと、 新たな事業活動の拡大によって、 さらなる利益成長を目指します

2012年12月

取締役兼代表執行役社長・
オリックスグループCOO

井上 亮

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年3月期上半期業績の総括

2013年3月期上半期までの業績は、順調に利益を積み上げ、当期純利益は前年同期比34%増の598億円を計上いたしました。今期の目標である1,000億円に対して、60%の進捗となりました。

リテール事業が大幅な増益となり、法人金融サービス事業、事業投資事業も着実に利益を伸ばしました。海外事業、メンテナンスリース事業は高

い利益水準を維持しています。

セグメント業績の詳細内容は P3 をご参照ください。

現在オリックスを取り巻く事業環境は、不透明な状況にあるという認識を持っております。欧州債務危機の問題解決にはまだ時間がかかり、アジア各国の景気減速なども懸念されます。そのような中で、今期下半期も環境の変化に注意しながら、積極的に事業機会を捉えて経営してまいりたいと考えています。

今後の方向性

国内のリース事業、レンタル事業については、前年同期と比べて新規実行が増加し、利益は順調に

推移しています。復興需要の本格化はまだこれからですが、被災地におけるお客さまからのニーズは底堅い状況が続くと見えています。今後も資産の拡大を目指すと同時に、お客さまのさまざまなニーズに応じた付加価値の高いサービスの提供を継続することで、収益性の向上を目指してまいります。

海外のリース事業では、引き続きアジア各国を中心とした新興国での有機的な成長を取り込む方針に変わりはありませんが、各国の経済状況などを見ながら、慎重に取捨選択し展開を続けていきます。

一方、不動産事業では、リーマンショック以降、資産の圧縮に努めています。下半期以降もさらにポートフォリオの入替えを進めることで、賃貸収益や運営事業収益などの安定的な利益基盤の拡大に繋がっていきたく考えています。

また、生命保険事業では、商品力の高い医療保険・がん保険に加えて、第1分野である死亡保険の販売拡大に注力し、銀行事業では、銀行としての優位性を生かしながら、収益力の高いカードローン事業を拡大させていきます。

新規投資に向けて

オリックスの利益成長には、有機的な成長に加えて、M&Aやプライベートエクイティ投資によるオポチュニスティックな成長を取り込む必要があります。

国内では企業の事業承継のニーズはますます増えており、ここにも投資機会は十分あると思います。

また、環境エネルギー分野が大きなテーマの一つとなっています。オリックスでは、2000年代からESCO事業を開始し、その後の電力自由化を契機に、電力の卸売・小売、バイオマス発電事業の運営へと事業を広げてきました。再生可能エネルギーの固定価格買取制度を背景として、すでにメガソーラー発電や屋根設置型ソーラー発電などの新規投資に取り組んでいますが、下半期以降はさらにその動きを加速してまいります。

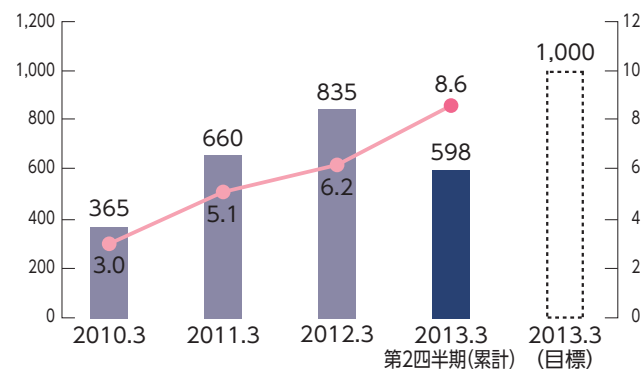
海外では、アジアを中心とした新興国の経済成長に伴い、世界の航空旅客マーケットは拡大し、ビジネスチャンスが広がっています。オリックスの航空機事業は1980年代から始まり、航空機リースに必要な業務(リース管理、購入・売却に関するマーケティング、契約・法務、会計・税務など)をすべて自社で完結できる強みをもっています。

オリックスの航空機事業については P7-8 でご紹介しています。

現在、共同投資も含めた新規投資を実行し、資産を拡大しており、このチャンスをさらなる成長に繋がりたいと考えています。

このようにオリックスの専門性が発揮できる分野で、さまざまなニーズや事業機会が日々生まれています。オリックスでは、一つひとつの案件を慎重に選別しながら、国内外で新たな事業活動を拡大していきたく考えています。これによって、オリックスの持続的かつ一段上の利益成長を実現し、株主の皆さまのご期待にお応えしてまいりたいと思います。

■ 当期純利益* (単位:億円) ● ROE (単位:%)



2013年3月期 連結業績予想

営業収益	1兆300億円 □ (前期に比べ6%増)
当期純利益*	1,000億円 □ (前期に比べ20%増)

*当社株主に帰属する当期純利益

解説

有機的な成長

既存の経営資源を使って、現状の商品・サービスからの利益を拡大させること

オポチュニスティックな成長

新規投資や他社との提携、他社の買収等の機会を的確に捉えて、利益を拡大させること

ESCO事業

企業や自治体で導入されている省エネルギーとコスト削減を実現するための包括的なサービス

バイオマス発電事業

木くずや燃えるごみなど、再生可能な生物由来の有機性資源を燃料とする発電の仕組み

固定価格買取制度

再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、一定価格で電気事業者が買い取ることを義務付けた制度

連結決算ハイライト

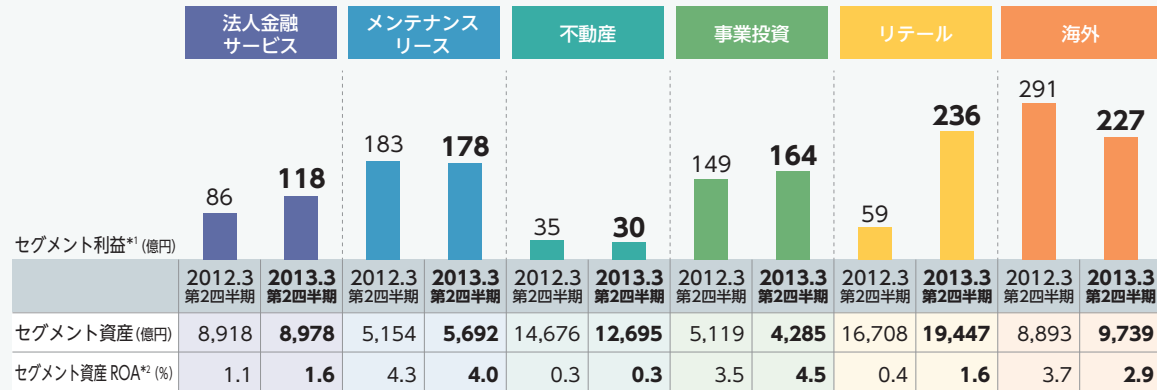
より詳しい財務情報はオリックスIRサイトへ [オリックス IR 検索 http://www.orix.co.jp/grp/ir](http://www.orix.co.jp/grp/ir)

当期純利益は前年同期比34%増の598億円。

「リテール事業部門」が大幅増益。

「海外事業部門」「メンテナンスリース事業部門」が引き続き高い利益水準を確保。

セグメント別業績概要



*1 累計 *2 税引き後、年換算後

セグメント別2013年3月期第2四半期までのポイント

法人金融サービス	<ul style="list-style-type: none"> 新規実行高は前年同期比1.4倍と好調。 ROAは1.6%に上昇し、収益性が向上。
メンテナンスリース	<ul style="list-style-type: none"> 中古車売却収益は減少したものの、ROAは4%と高い収益性を維持。 新規実行高が増加するとともに、資産は増加。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> 水族館などの運営事業の収益が伸長。 資産圧縮が順調に進捗。
事業投資	<ul style="list-style-type: none"> サービサー事業による大口の回収が貢献。 投資事業は、既存投資先からの収益が堅調に推移。
リテール	<ul style="list-style-type: none"> 生命保険の保有契約数の増加や、オリックス・クレジットの連結子会社化などにより収益が伸長。 前年同期に持分法適用会社のマネックスグループの株式評価損を計上した影響により増益。
海外	<ul style="list-style-type: none"> アジア地域でのリース収益は順調に推移。資産は引き続き拡大。 米国では、有価証券売却益が減少したものの、ROAは2.9%と高い水準で推移。

主な経営指標の推移

業績データ(単位: 億円)	2012年3月期		2013年3月期	
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	(通期目標)
営業収益	4,741	9,715	5,109	10,300
当期純利益*3	447	835	598	1,000
	第2四半期末	期末	第2四半期末	
総資産	82,345	83,328	81,865	
セグメント資産	59,467	60,021	60,836	
株主資本	13,169	13,807	14,160	

*3 当社株主に帰属する当期純利益

事業活動ピックアップ

6月 オリックスVIPローンカード25周年(オリックス・クレジット)

1987年6月に販売を開始した『オリックスVIPローンカード』は、おかげさまで発売から25周年を迎えることができました。オリックス・クレジットは本年6月より、再びオリックスの100%グループ会社となり*、幅広いニーズにお応えするカードローン事業を展開しています。

*三井住友銀行の持分全てをオリックスが取得。



9月 太陽光パネルの耐久性試験から蓄電池充放電試験まで一括受託が可能に(オリックス・レンテック)

2011年10月に開設した「神戸試験センター」の設備を拡充し、太陽光パネルの長期耐久性評価などの品質試験を一括受託できる環境を整えました。また、大型蓄電池の開発に必要な蓄電池充放電試験設備を新設し、サービスを開始しました。需要の高まる再生可能エネルギー市場において、製品開発のコスト削減と試験業務の効率向上を支援します。



9月 岩手県・宮城県沿岸部に宿泊施設を開発

東日本大震災で被害を受けた岩手県・宮城県の沿岸部において、宿泊施設の開発に着手しました。2013年春までに、計10拠点、約1,400室の開発を目指します。復興に関わる方々が利用する宿泊施設の不足という課題を解決するため、複数のパートナーとともに開発を進めています。



最新 News

2012年10月 成果報酬型デマンドレスポンスサービス「はっとわっと」を開始

お客様の電気料金の削減とエネルギー管理を、成果報酬型でご提供するデマンドレスポンスサービス(サービス名称:「はっとわっと」)を開始しました。必要な機器や通信費はオリックスが負担し、節電によって得られたコスト削減分をお客さまとシェア(共有)する仕組みのため、お客さまは初期投資の負担をすることなく節電対策を実施できます。

その他の主な事業活動(時期は発表時点)

- 4月
 - 中国で産業用ロボットのレンタル事業を開始(オリックス・レンテック)
 - 冷凍食品・外食事業の「キンレイ」へ資本参加
 - 「夢科グランドホテル滝の湯」リニューアルオープン(オリックス不動産)
 - 中国最大手自動車販売会社と合弁リース会社を設立
 - 播州東洋ゴルフ倶楽部の事業を譲り受け(オリックス・ゴルフ・マネジメント)
- 5月
 - 日本最大規模の一括受電マンションでグリーン電力を利用(オリックス電力)
 - オリックスのレンタカーネットワーク3ブランドを統合し、1,000店舗体制へ(オリックス自動車)
- 6月
 - タブレット端末活用サービス「TabRen(タブレン)」を開始(オリックス・レンテック)
- 7月
 - 初の豪ドル建社債を発行
 - 韓国市場における韓国ウォン建無担保普通社債を発行(オリックス・キャピタル・コリア)
- 8月
 - 日成ビルド工業と機械式駐車場装置販売で協業を開始
 - 電子測定器、IT機器などの中古機器専門店「スマートリファビッシュ」開設(オリックス・レンテック)
- 9月
 - 職種転換制度「キャリアセレクト制度」を導入
 - ブラジルに現地法人を設立
- 10月
 - 蓄電池レンタルによるエネルギーサービス事業の検討を開始(オリックス、NEC、エプコ)

オリックスのさまざまな事業活動を通じて培ってきた 高い専門性を生かし、新たな分野へ進出します



**太陽光発電などの
再生可能エネルギー事業を推進**

オリックス 取締役 兼 専務執行役
(事業投資本部管掌) **小島 一雄**

Q 太陽光発電システムの販売をされていると伺いましたがオリックスの特徴は？

A 全国にある営業拠点の担当者が中心となり、法人のお客さまに直接提案活動を実施し、環境エネルギー事業部門と一体となってお客さまのニーズに対応したシステム販売を行っているところです。当社は、太陽光発電システムの調達、施工会社のアレンジ、電力会社との各種手続き、国や自治体への補助金申請業務、リース、割賦などのファイナンスなど、インテグレーターとして太陽光発電システム導入に関わるあらゆるサービスをワンストップでご提供しています。

Q 最近新聞報道などで「メガソーラー」という言葉を良く耳にしますが、オリックスでの取り組みは？

A 企業や自治体が保有する太陽光発電に適した土地をお借りし、1メガワット(MW)以上の太陽

光発電事業(土地賃借型)を推進しています。また、お客さまの工場や倉庫などの屋根をお借りしたり、オリックスが所有する商業施設や物流倉庫などの屋根へ太陽光発電システムを設置する発電事業(屋根設置型)の拡大も進めています。

土地賃借型、屋根設置型ともに、今後3年間でそれぞれ100MW、投資総額500億円超を想定しており、極力前倒しで取り組んでいます。

土地賃借型メガソーラー事業については、商業運転開始後に、金融とアセットマネジメント分野での知見を生かしてファンド組成を計画しています。環境エネルギー分野においても、オリックスが推進する「金融+サービス」の実現を図ります。

太陽光発電事業以外にも、2011年9月より木質バイオマス発電所の運転を開始し、また風力発電事業に投資するなど、再生可能エネルギー事業を推進しています。

PICK UP 屋根借り方式太陽光発電の第1号物件に着手



オリックスは北陸コカ・コーラボトリング社の製造工場の屋根を賃借し、太陽光発電システムの設置を開始しました。約2万㎡の面積に1.5万枚以上のパネルを設置し、2013年2月より運転開始を予定しています。年間予想発電量(初年度)は1,364,369kWhで、約380世帯分の年間消費電力に相当します。



**積み上げたノウハウを生かし、
2つの新たな水族館の運営を開始**

オリックス 取締役 兼 専務執行役
(オリックス不動産 社長) **山谷 佳之**

Q オリックスが水族館を運営していると聞いて驚かれる方も多いと思いますが？

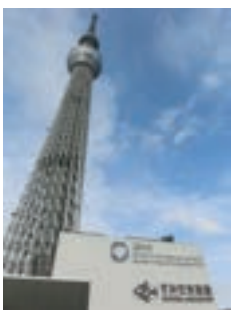
A 水族館事業は、2004年より神奈川県とのPFI事業として新江ノ島水族館の運営に携わったことに端を発しています。融資を実施する立場から経営にも加わり、水族館の運営プロジェクトを仕上げていく中で基礎的なノウハウを取得。水族館運営に不可欠な飼育業務について、江ノ島マリンコーポレーションをはじめとする専門家とのネットワークを築くことができました。このような専門性の蓄積を背景に、直営施設として2012年3月に「京都水族館」、5月に「すみだ水族館」の運営を開始しました。

Q 水族館事業におけるオリックスらしさとは？

A 水族館の新しい価値を作り出す「人」だと思います。



京都水族館



すみだ水族館

水族館の建物を作って、魚を入れる。そこにももちろん多くの技術や知識が存在しますが、訪れるたびに新しい発見があって、いろいろと学ぶことができ、また来たいと思う水族館を目指しています。水族館には年間200万人もお客さまがいらっしゃいます。そのいらっしゃった全てのお客さまに満足して帰っていただきたい。それにはできるだけ細かい配慮が重要です。お客さまの期待を裏切らない水族館にするために、365日お客さまと接する現場で働く人たちが、新しい価値を作り上げているのです。

PICK UP 仙台駅前商業施設『EDEN』で『すみだ水族館』による移動水族館を開催

2012年7月、オリックス不動産が開設した仙台駅前の商業施設『EDEN』の1周年イベントで、『すみだ水族館』による移動水族館を約1ヵ月間開催しました。タッチングプールではいきものとの触れ合いを楽しむことができ、夜はライトアップされた水槽を眺めながらビアガーデンでのひと時を楽しむお客さまも。オリックス不動産の施設で楽しいコラボレーションが実現しました。



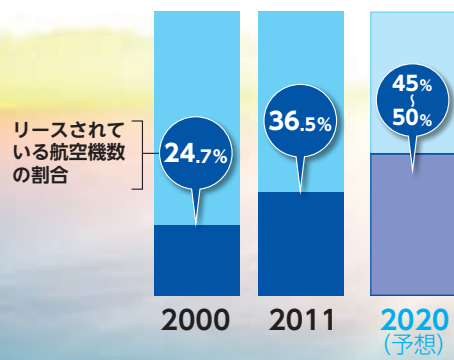


世界を舞台に躍進する オリックスの 航空機ビジネス

オリックスでは世界中の航空会社を対象にして航空機オペレーティングリース事業を行っています。また、これまで培ってきた航空機リースのノウハウを生かして、航空機に投資する国内外の数多くの投資家からリース契約管理業務や再販業務を請け負っています。



リースされている航空機数の割合推移
(出典:ボーイング社 2012年度最新市場予測)



世界で飛んでいる航空機の機数推移
(出典:ボーイング社 2012年度最新市場予測)



アイルランドのグループ会社 ORIX Aviation Systems Limited

世界30カ国以上もの航空会社、金融機関や投資家と取引する航空機リース会社(オリックス100%出資会社)です。1991年の設立以来、20年以上培ってきたノウハウと豊富な実績を武器にして専門性の高いビジネスを展開しています。

パファローブル 航空機をリースするといろいろなメリットがあるんだって。

パファローベル そうなの？ 航空機ってリースされているの？

パファローベル(ベル): 成田空港からソウルまで1万円以下で行けるんだって！すごーい！
パファローブル(ブル): 最近、日本でもLCCと呼ばれる格安航空会社がたくさんできたし、1日の便数も増えたから、より海外が身近になったね。
ベル: それだけ航空機の数が増えてるってこと？

ブル: そうだね。30年前と比べると、世界の航空機数は約3倍になっているんだって。
ベル: えー、そんなに増えてるの？でも航空機の値段って高そう。航空会社ってたくさんお金を持っているの？
ブル: 航空機を買うのは1機あたり数十億円から百億円以上のお金がかかるから、リースでの調達が増えてきているんだよ。オリックスは20年以上前からアイルランドに会社を作ってこのビジネスに取り組んでいるんだ。
ベル: リースって、航空機を貸してくれるってこと？
ブル: そうだよ。オリックスが航空機を買って、航空会社に貸すんだ。航空会社はリース料を毎月支

払えば良いから、一度にたくさんのお金を用意する必要がなくなるね。それに、必要な期間だけ借りられるから、航空会社は常に最新の航空機を揃えておくことができるんだ。オリックスでは、このビジネスで学んだ専門的な知識を生かして、金融機関や投資家が保有する航空機リースの管理業務も引き受けているんだ。リース料の回収やリース契約通りに航空機が整備されているかどうかをチェックしたり、次にリースする航空会社や中古市場で売却先を探してあげたりしているんだよ。
ベル: すごーい！航空機を貸すだけじゃないんだね。でも、なんで日本から遠いアイルランドに会社を作ったの？

ブル: 実は、航空機リースの発祥の地がアイルランドなんだ。だから、アイルランドには航空機リースビジネスに詳しい専門的な人がたくさんいるんだよ。それに、時差を考えるとアイルランドは世界中の企業とビジネスをするにはとても便利な国なんだ。朝はアジア、日中はヨーロッパ、夕方にはアメリカの企業と連絡が取り合えるからね。
ベル: なるほど！世界でビジネスをするには時差も考えなくちゃいけないのね！
ブル: 以前よりも航空チケットが安くなって、航空機で旅行する人も回数も増えているんだ。特に人口の多い新興国の需要が増えているから、航空機リースは注目のビジネスだよ！

会社概要

会社名 オリックス株式会社
 設立 1964年4月17日
 従業員数(連結) 18,647名
 事業内容 多角的金融サービス業

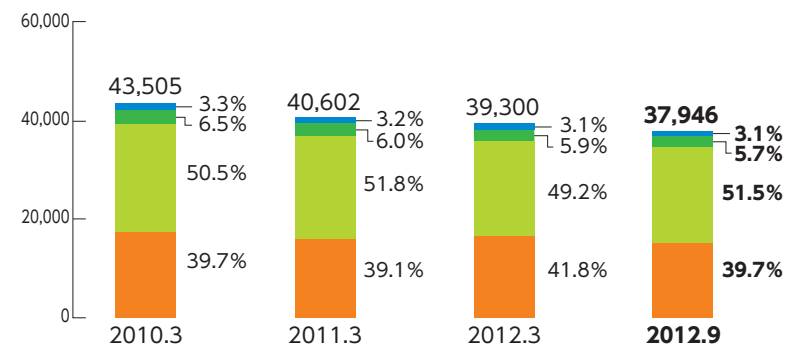
連結会社 736社
 関連会社 92社
 拠点数 (日本を含む世界28カ国・地域)
 国内 1,242拠点 海外 325拠点

株式情報

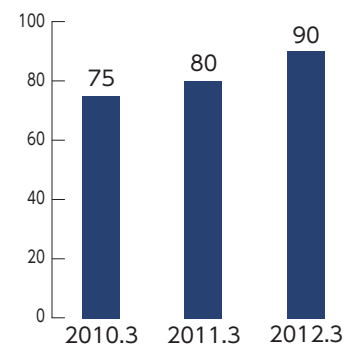
発行会社 オリックス株式会社
 発行済株式の総数 110,254,422株
 発行可能株式総数 259,000,000株
 株主数 37,946名

株主数(名)・所有者別株主構成比(株式数)の推移(%)

金融機関等 外国法人等 個人 その他



1株当たり配当額の推移(円)



株主メモ

株主名簿管理人
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11
 ☎0120-232-711

上場金融商品取引所
 東京・大阪証券取引所市場第一部 [8591]
 ニューヨーク証券取引所[IX]

株式事務に関するお問い合わせ先

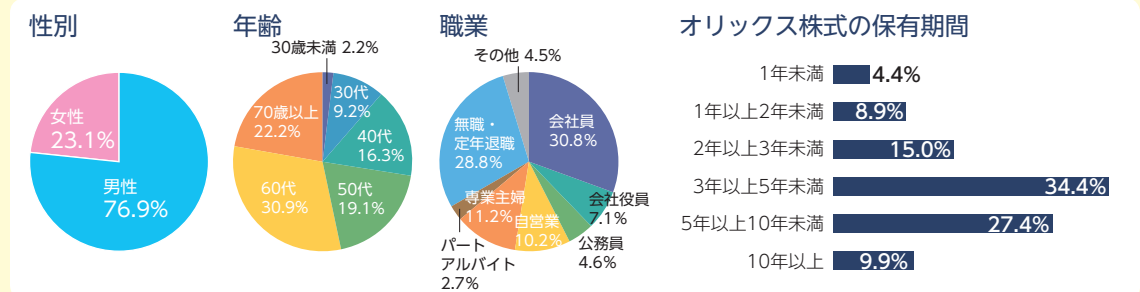
株主さまの各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

- 証券会社に口座を開設されている株主さま
お取引引き口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 「特別口座」に記載されている株主さま
当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
☎0120-232-711(土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

株主アンケート結果のご報告

2012年7月発行の株主通信「悠」No.43でご協力をお願いしましたアンケートに、3,342通のご返信をいただきました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。株主さまからの貴重なご意見を、今後の情報発信や株主さま向けサービスの参考にさせていただきます。アンケート結果とご意見の一部をご紹介します。

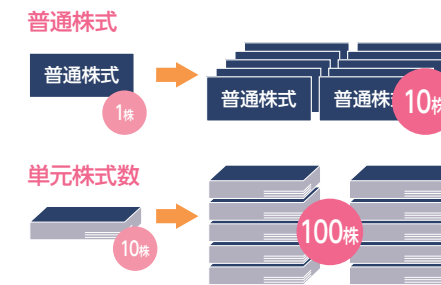
実施期間 2012年7月~2012年8月
 返信数 3,342通 / 返信率:8.5%



Information おしらせ

株式の分割、単元株式数の変更について

当社は、2007年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、**2013年4月1日(月)に普通株式1株を10株に分割するとともに、単元株式数を現行の10株から100株に変更いたします。**
 なお、この株式の分割および単元株式数の変更ともなう投資単位の実質的な変更はありません。



スケジュール

株式分割および単元株式数変更の効力発生日は2013年4月1日ですが、株式売買後の振替手続きの関係で、実務上、右記のように取り扱われますのでご注意ください。



今後のIRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)



株主さまからのご意見にお答えします!

Q レンタカーやカーシェアリング、水族館やゴルフ場など身近なサービスについてもっと取り上げて欲しい。

Q オリックスはいろいろな事業をやっているが、事業の責任者の話を聞いてみたい。

A ご意見ありがとうございます。オリックスでは個人のお客さま向けの商品・サービスも多く扱っており、そのラインナップは拡大しています。今後も新しい商品・サービスについては、「悠」の中でもどんどんご紹介していきたいと思っております。

A ご意見ありがとうございます。今回の「悠」では今もっとも注目度の高い「環境エネルギー事業」と、「不動産運営事業」の役員にインタビューしています。P5-6をご覧ください。



オリックス・バッファローズ ニュース

たくさんのご声援、
ありがとうございました。



皆さまのご声援のおかげで今シーズンも最後まで戦い抜くことができました。結果はリーグ最下位と非常に悔しさの残るシーズンとなりましたが、来シーズンはこの悔しさをバネにチーム一丸となって優勝を目指します。

©ORIX Buffaloes

森脇新監督からのメッセージ

来季は「変化」したバッファローズとして、勇猛果敢に挑みます。

来季、バッファローズの指揮をとらせていただくことになりました。率直に大きな責任を感じております。我々に求められているのは、「変化」することです。スキル、フィジカル、メンタルそれぞれをアップさせ、「変化」したバッファローズにご期待ください。

今季までの悔しい思いを二度と味わうことなく、皆さまと充実した素晴らしい時間を過ごせますよう、勇猛果敢に挑んでいく覚悟です。



プレイバック2012

李大浩選手 打点王獲得！

日本でプレーした一年目の今季、打点王というタイトルの獲得は、とてもうれしく誇りに思います。来季も自分の力を十分に発揮し、自分本来のパフォーマンスを皆さんにお見せできるよう頑張りたいと思います。



西勇輝選手 ノーヒット達成！

今季ケガをしてチームに迷惑をかけたしまいましたが、最終戦でノーヒットノーランを達成できたことは、素直にうれしいです。来季は皆さんに信頼される投手になれるようがんばります！ご声援よろしくお願いたします！

アイドルユニット
ストロベリーズ
StrawBs
デビュー！



こどもから大人までみんなに愛されるアイドルを目指して活動中です。人気のバッファローベルもメンバーの一人。どうぞご注目ください！



<http://www.buffaloes.co.jp/idol/>



WEBサイトのご紹介

最新の情報はココから！

オリックス

<http://www.orix.co.jp>

スマートフォン
専用サイトを開設！

PC版でアクセスの多い主要メニューをトップページにレイアウトしました。また、オリックスグループの事業内容を紹介する動画もスムーズにご覧いただけます。



この冊子の内容についてのご質問、また補足情報をご希望の方は右記までご連絡ください。

オリックス株式会社／経営企画部・グループ広報部
〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル
TEL：03-5419-5041 FAX：03-5419-5901
URL：http://www.orix.co.jp/grp/ir

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

IX LISTED NYSE